

チーム担任制、9校で実施

教員も児童も保護者もメリット

一つの学級の担任を固定するのではなく、複数の教員で受け持つ「チーム担任制」が、県内9校のモデル校で実施されています。教員の負担軽減や資質向上が期待されるほか、児童にとっても「先生を選べる」「自身の理解者が増える」などのメリットが考えられます。今年4月に始まったこの新制度について、佐賀県教育委員会などに聞きました。（中牟田友美）

チーム担任制とは、学級担任を1人に固定せず、複数の教員で分担する制度で、月や週ごとに担任をローテーションしながら学級運営を行う仕組みです。県教委によると、この制度をスタートするにあたり、事前に保護者会を開催し、各校の取り組みが説明されており、大きな混乱



チーム担任制を導入した4年生の授業の様子。教諭のスキルアップが図られ、授業内容が充実している上峰小

うまくいくカギは情報共有

もなくスムーズにスタートを切ったということ。モデル校は、大規模校から小規模校までバランスよく選定されています。実施する学年は3年生から6年生までの中学年～高学年が中心となり、それぞれの学校で選んでいます。1学年に複数学級ある学校では、学年内で担任を入れ替えますが、1学年1クラスの小規模校では、学年を超えてローテーションするケースもあります。

チーム担任制のメリットとしては、①教員の業務分担による心理的負担の軽減②ベテランと組むことで若手教員の指導力と専門性が向上し、質の高い教育が可能③一つの学級に集中し過ぎない分、気持ちの切り替えができ、細やかな支援・指導ができるなどが挙げられます。児童や保護者にとっては、相談する先生を選べることや、学年で統一した指導を受けられることが利点です。具体的な運営は各モデル校に任されており、職員室での机の並



1週間ごとに担任が代わるため、入口にその週の担任の名が掲示されている4年生の教室=上峰小

この制度を進めるためには、事前の説明・理解が必須となり、保護者・児童・教員の連携が大切になります。また、教員間の情報共有が重視されるため、情報を交換する時間が必要となってきます。今後、各モデル校から実施して

良かった点や課題が報告される予定です。これらの課題を精査し、県内全域の小学校で導入が進めば教員の働き方も変わってきます。導入が学校教育活動の充実や教員の負担軽減に結びつけば、多様性を尊重する教育にもつながりそうです。

保護者の声

多久市の東原産舎中央校では3年生と4年生でチーム担任制を実施しており、それぞれの学年で2クラスを

不安の一方、歓迎の声も

3人の先生が週替わりで担任しています。保護者からは不安の声が聞かれる一方で、「子供たちにとってもいい制度」という前向きな意見も寄せられました。保護者に新制度の感想を聞くと、「先生の名前と顔を覚えるのが大変」という戸惑いがあったほか、「何かトラブルがあった時、どの先生に相談したらいいかわからないし、先生間での情報共有はきちんとされているのだろうか？」との疑問も出てきました。また、「学級担任制に比べて一人ひとりの子供に関わる時間が少ない分、関係が希薄になりそう」などの意見も聞かれました。

一方、子供たちの様子については、「好きな先生の週は嬉しそう」「子供が話しやすい先生を選べるのは良いことだと思う」「2クラス共に同じ担任なので先生の経験値によるクラスでの色々な差はなくなりそう」と歓迎する声も多く聞かれました。

学校生活をがらりと変える可能性もあるチーム担任制。先生と保護者、児童間の信頼関係を構築していくことが重要だと浮かび上がってきました。（宮中 あゆみ）

児童の声

武雄市の橘小は1学年1クラスの小規模校です。5年生と6年生を組み合わせてチーム

学年により意見の違いも

担任制を導入しており、3人の先生が2週間ごとに入れ替わって担任を受け持っています。5年生は「複数の先生がいるので、授業と友達関係の相談相手を分けれるのが良い」「教科によって担当が変わるのが面白い」「チーム担任制も1人担任でもどっちでもいい（どっちがいいとかはない）」「1人の先生に慣れて来たころ、ほかの先生に代わるのが…」と比較的良好印象が多いようです。一方、6年生からは「教科ごとに先生が変わるのに慣れない」「何人もの先生が授業に来るのが嫌だ」「5年生と比べられるのが嫌だ」「先生同士が情報共有できているのか不安」など、否定的な意見も多く寄せられました。

橘小は学年が違うクラスで新制度を導入しており、子供たちの年齢の違いが意見の違いに反映しているとみられます。「6年生の担任は卒業生として思い出に残るので1人が良かった」という声もあり、対象学年の選定の際の課題として、今後の検討が必要かも知れません。（鳥越 歩美）

学校の声

三養基郡上峰町の上峰小では、4年生でチーム担任制に取り組んでいます。1学期を終えた時点では大きな課題はなく、学年主任の藤田新一教諭は「微調整を重ねながらいい制度にしていきたい」と意欲を見せます。

余裕生まれ、授業の充実へ

同校では4年生3クラスを4人の教諭で担当。チームは藤田教諭に加え、中堅教諭2人、新採教諭1人というバランスのいい構成です。各クラスの担任は1週間ごとに代わり、授業は各教諭が2～3科目を受け持っています。受け持ち教科が減り、時間的余裕ができたことで授業内容の充実につながったといいます。また同じ教科を3クラス分受け持つことで、教諭のスキルアップにもつながっています。新採の山本美佑教諭は「チームなので不安なく1年目の仕事に取り組める」と充実した表情を見せます。

初めての試みで、環境の変化に戸惑う児童・保護者がいることも考えられますが、藤田教諭は「一人ひとりの児童を4人の目で見守る体制ができ、よかったと思っている。改善すべきことは改善し、児童や保護者の不安をなくしていきたい」と話します。（原 晋介）

37年の信頼と実績

丸田塾

maruta

正社員講師が責任をもって指導します

中学校別 定期テスト対策 実施しています!

小2～高3 目標に応じた各コース

全教科指導 部活や習い事との両立もできます

英検・漢検・数検 の受験もできます

2025年 実績あり!

致遠館中 合格実績 37名

お問い合わせは各教室まで!

- ◆兵庫本部教室
- ◆城北教室
- ◆新栄教室
- ◆小城三日月教室
- ◆佐賀駅前教室
- ◆大和教室
- ◆鳥栖教室

丸田塾 HP



会員ら5000人、学び深める

日本PTA全国研究大会
石川大会が8月22、23の両日、石川県金沢市の県立音楽堂コンサートホールをメイン会場に開かれました。全国のPTA会員や教育関係者ら延べ5千人が参加し、PTAの意義を再確認し、今後の活動につながる視点やヒントを探りました。

初日は、小松市や加賀市など県内各地に分かれて六つの分科会と二つの特別分科会を実施。「家庭教育」地域連携「広報活動」など多彩なテーマで学びを深めました。2日目の全体会は、オンラインと各分科会会場をオンラインで結んで開催。「創造的・協働的な学びをつくる」学びを活かし新たな行動に結びつけていく「サステナブルな環境や地域づくりを支える」などとした大会宣言を採択しました。

石川大会に参加して

未来志向の議論、有意義な時間

金泉中PTA 福光洋成さん



石川県で開催された日本PTA全国研究大会に参加しました。分科会では「SDGs・ウェルビーイング」をテーマに、生成AIの活用といった未来志向の議論が交わされ、大変有意義な時間でした。

特に、野々市市立館野小学校PTAによる実践報告は心に残るものでした。教員の多忙化という深刻な課題に対し、保護者が学習支援で現場を支える取り組みは、まさに協働のあるべき姿だと感じました。

一方で、PTA活動自体が「重い」という心理的ハードルから担い手不足に陥る現状も共有されました。昭和から続く慣習を見直し、誰もが前向きに関われる持続可能な組織へと変革していく必要性を痛感。子供たちの未来のため、私たち自身が積極的に関わっていく姿勢が大切だと改めて気付かされました。

「あなたの存在が大切だよ」

母親研修で古川氏が講演



浄誓寺僧侶 古川潤哉氏

佐賀県PTA連合会の母親研修会が7月15日、佐賀市文化会館で開かれました。各市郡連の母親委員ら約100人が参加し、伊万里市にある浄誓寺の僧侶の古川潤哉氏の講演を通して、生と性と死とは何かという事について学びを深めました。



古川氏の講演に聴き入る参加者=佐賀市文化会館

講演前には、県Pの馬場將嘉会長が「我々が生きていく上で、生と性と死というのは切っても切れないものです。今回あらためて考えることで、子供たちにも伝えられる言葉があるのではないかと思います。皆さんの心に残る実りある時間、意義深い時間

としていただけたら」とあいさつ。県P母親委員会の末永麻梨子委員長が「生活をしている中でたくさん疑問や問題に突き当たることがあると思います。皆様の生活の糧になり、より豊かな人生を送っていただく為に楽しく聞いてください」と呼び掛けました。

講演要旨 「生と性と死を考える」

古川潤哉氏

性教育、スタートは3～5歳

「生きる話をしてください」とよく言われるのですが、性の話と死ぬ話はタブーとしてふたをしてしまっていて、そんなこと口にしちゃいけませんみたいなものじゃないですか。今の時代は、自分が疑問に思ったことはネットで調べます。ネットの中で自分が繋がっている範囲の話を鵜呑みにしてしまうということが大いに起こります。色々な考え

方があるということ、きちんと教えていくためにはオープンに話すことが大事だと思っています。日本における性教育の背景として挙げられるのは、「恥ずかしいと分かる年齢になつてから恥ずかしいことを教えようとする」からなんです。包括的性教育という形で、性に関するスキルだけでなく、それに

まつわるライフスキルを伴う形で教えたほうがいいと思います。また、「何が犯罪行為か」「どこからが人権として守るべきものなのか」「プライベートはどこからどこまでか」。そして「時には助けを求めていい」ということも含めて教えていきたいと思います。しかもスタートは3歳から5歳です。

(再録・徳川舞)

ある」と説明。参加者は袈裟姿の古川氏の話真剣に聞き入っていました。参加者の1人は「子供に命の大切さを伝えていたつもりでいたが、『あなたの命が大切だよ、あなたの存在が大切だよ』と具体的に伝えていきたい」と話し、命には限りがあることや、人との縁でつながっていることを深く心に刻むことができた様子でした。(坂本さおり)

参加者の声

伝えるのは「あなたが大事」

兵庫小PTA 江下真貴子さん

袈裟を着たお坊さんが唱えるお念仏で始まった講演会。道徳的な内容を想像していました。ところが人柄やユーモアがあふれるお話で、いくつもの固定概念を壊される内容でした。

一番印象的だったのは、「いのちを大切に」は意味がないという言葉です。「いのちを大切に」のいのちは誰のいのちを指すのか、どんどん枠組みが広がっていきます。いのちを頂いて生きている人間は、いのちを大切にできているのかという矛盾が出てきます。

考え出すと子供たちにどう伝えるべきなのか悩んでしまいます。自分の経験から学んだことを押し付けてしまいがちですが、いのちが大切と分かっていない子供はいないので、「あなたが大事だ」と言わなければならないと教えていただきました。

あなたの存在が尊いと考えると、人のことも大切にできるようになる。お互いを尊重し合って生きていくことを伝えていかなければと気付かされました。「いのち」「生」「性」「死」を深く考えることになった講演会でした。

みんながわくわくできる

秘密基地

- 平日 19時まで利用可
- 安心の完全送迎
- お弁当(有料)の注文可能
- 土曜・祝日 18時まで
- おやつ・ジュース無料

放課後等デイサービス **みんなのもり**

ボルダリングやeスポーツを導入し「できた」という成功体験を積み重ねることで「忍耐強さ」や「自信」につなげていきます。

8/1 OPEN 放課後等デイサービス **みんなの教室**

モラージュ佐賀北館2階

「eスポーツの推進」「お子様の特性に配慮した学習指導」を掲げ、最新鋭のパソコン配備や、「教室」の名にふさわしいプロの学習塾講師による指導を受けることが出来るなど、学びの環境を整えました。

利用児童募集中!!

お問い合わせ / 080-3222-8900
担当: 石江・松尾

放課後等デイサービス **みんなのひろば**

トランポリンなどの運動により、インナーマッスルや筋肉・体幹を鍛え、脳の発達を促し、「記憶力」「集中力」「理解力」の向上につなげていきます。

佐賀市呉服元町 2-14
0952-37-7678

中央大通り
サンテ溝上病院
ハローエスプラッツ

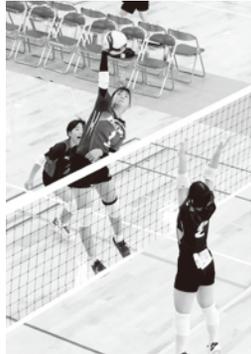
佐賀市巨勢町牛島 730
モラージュ佐賀北館 2階
080-3222-8900

見学・体験大歓迎!
お気軽にお問い合わせください

佐賀市本庄町袋 301-1
0952-97-8553

すき家
オートバックス くら寿司
南部バイパス
スターバックスコーヒー
佐賀南バイパス店

県中学総体、18競技で熱戦



第62回佐賀県中学校総合体育大会が6月中旬から7月下旬にかけ、県内各地で開催されました。軟式野球男子では相知中が初優勝し、佐賀で開催される全国大会へ出場することになりました。ほかにもテニス男子の城北中やバレーボール男子の三田川中、水泳女子のアクセス佐賀など、多くの学校・地域クラブが初栄冠を飾りました。各競技の上位チーム・個人は九州大会や全国大会へ出場しました。熱戦の様子を写真で紹介します。

(平松 幹史)

第62回 佐賀県中学校総合体育大会 成績一覧表
(県大会 団体のみ掲載)

資料提供:佐賀県中学校体育連盟
※初優勝

競技	男子	女子	
空手	団体形	※江北空手道クラブ	※鳥栖空手道クラブ
	団体組手	旭空手塾	※旭空手塾
バドミントン	※山内ジュニアバドミントンクラブ		
テニス	※城北中	致遠館中	
ハンドボール	神埼中	神埼中	
体操	白石中		
新体操	佐賀ジュニア新体操クラブ	城南中	
水泳	大和中	※アクセス佐賀	
陸上競技	白石アスリート	基山中	
軟式野球	※相知中		
ソフトボール	※西有田中・有田中		
バスケットボール	江北中	第一中	
バレーボール	※三田川中	西部中	
ソフトテニス	※KAMIMINE	※桜S.T.C	
卓球	※フォレストTTC	フォレストTTC	
柔道	昭栄中	※有田警心館	
剣道	北茂安中	大和中	
相撲	からつ相撲クラブ		
サッカー	※TAKUMI FC		

外からではなく内側から

◆PTA役員を引き受けたきっかけと県PTA副会長になった意気込みをお願いします。

長男が小学2年生の時に「一回やっておこう」という軽い気持ちで父親部になったのがきっかけでした。私が役員になったところは除草作業や門松作り、運動会でのゆで卵売りなど、思ったよりも仕事が多いなあと思いましたが、気付けば13年間も携わっていました。市の副会長、会長となり、今年度からは県の副会長を務めさせていただきます。1年目は意見も何も言わずでしたが、市だけではなく、県全体の活動に気を配る役員になりたいと思っています。

◆多久市のいい所を教えてください。

多久市は自然豊かで何より、佐賀の中心に位置しているため、どこに出掛けるにも良い立地条件だと思います。

◆多久市Pのこれからの課題はありますか？

この地域もおそろしく同

市郡連会長に聞く

県内に13ある市・郡・地区PTAの会長を順番に紹介します。それぞれの地区の自慢や課題、今後の展望について語ってもらいます。

第27回 多久市 吉村亮 会長

よしむら・あきら
今年度より県PT副会長。妻と次男、長女、父母の6人家族。今年21歳の長男は結婚して自分の家庭を築いている。長男、次男が所属する野球チームを応援するのが楽しみ。週末は試合に駆けつけ応援に声をからしている。所属単Pは東原産舎東部校。



◆次世代の役員さんへのアドバイスをお願いします。

役員になると、普段話すことがなかったほかの役員さんたちと話す機会ができて、学校の先生方とのやりとりも増えるので、自分の為にもなります。PTA活動を外からではなく、内側から見て、9年間(小中一貫校)のうちの2年間、子供たちの為にどんなことをしてあげられるのかを考えて頑張ってみてください。

◆最後に、奥様へ一言お願いします！

PTA学校行事、市P、県P、スポーツ推進委員、スポーツ協会競技部長など、本当に家を空けることが多い中、家庭を守り続けてくれている妻に感謝しています。

(聞き手 宮中あゆみ)

デジタル実証フィールドさが
サガ、ミライ、カクダイ。

Digital 実証 FIELD SAGA

Society5.0に向けて
デジタル実証フィールドさが

佐賀をデジタルの実証フィールドとし、あらゆる分野でデジタルの活用を進め、どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を実現します。

今回この取り組みを紹介・体験できるイベントを開催します！

10.18 Sat・19 Sun

10:00 ~ 17:00

佐賀県庁新館1階県民ホール 佐賀市城内1丁目1-59

デジタル実証フィールドさがinfo

デジタル実証フィールドさがパネル展示

デジタル実証フィールドさがロボット

自動運転バス・自動配送ロボット

ローカル5G スマート農業

各種ドローン展示

ドローン 水中ドローン 特殊ドローン

参加無料

※一部体験は事前申込制

事前申込・開催情報はこちらから

デジタル実証フィールドさがが

VRで無重力空間を体験！

宇宙飛行士船外活動VR体験

水中ドローン体験

ドッキドキ!? 小型ロボット遠隔操縦体験

佐賀県

デジタル実証フィールドさがに関するお問い合わせ
佐賀県政策部 さが政策推進チーム デジタルイノベーション担当
TEL 0952-25-7360 digital-innovation@pref.saga.lg.jp



子育て・親育ち

うちの家訓

子育てのヒントになるような、それぞれの「家訓」を紹介します。

光武家の家訓

ワクワクする気持ち大切に

光武 白水(有田中PTA)

我が家にはこれと言った家訓はありませんが、我が子や地域の子どもたちと接していく上で、一つ大切にしていることがあります。それは、新しいことを始める時や岐路に立った時、行き詰まった時などに「ワクワクする方を選ぶ」という事です。

はたから見れば、計画性がなく、無責任に見えることもあるのですが、「自分自身そして周りの方々を巻き込みながら楽しく笑顔でやっていこう」という思いです。時にはリスクを伴うこともあります。周囲の人たちには「何だか楽しそう!」と思ってもらえたら、それが次世代につながるきっかけになるはず。楽しさやワクワクを大切にしながら、人生に彩りを添えてもらいたいと思います。

小寺家の家訓

全力で挑み、オープンな心で

小寺 毅(江北中育友会)

私は曰くから子供たちに「全力で取り組むこと」と「オープンな心」について話しています。まず「全力で取り組むこと」は、どんな課題にも真剣に向き合う姿勢を大切にしています。自分の力を最大限に発揮することで成長や達成感を得ることが出来ます。全力を尽くすことで自分自身を知り、さらなる挑戦が可能になります。

次に「オープンな心」は、他者からのおみやげや新しい挑戦を受け入れることを重視しています。誰かの助けになることで信頼関係が生まれ、自己成長の機会が広がります。頼まれごとに応えることで、他者との絆が深まります。

全力で挑む姿勢とオープンな心が、わが子の未来を明るく照らしてくれることを願います。

わたしの推し歌

FACES PLACES

Memorable Songs globe (1997年)

散々な真夜中の必勝祈願ツアー

「そうだ、必勝祈願に行こう!」。夜遅く、誰ともなく言い出しました。福岡大時代、週末にテニスの試合が控えており、仲の良かった3人で姪浜の愛宕神社を目指しました。必勝祈願するような神社ではなく、しかも夜中。暇を持って余した大学生ならではの考えでした。

賽銭用の小銭を持って車で出発。しかし道を間違え、気付いたときにはなぜか前原。道路標識に「佐世保市 ○○キロ」の文字を見つけた1人が言いました。「うちの実家、佐世保だから、どうせなら行かぬ? 遠い方がご利益ありそうやん!」。これぞザ・大学生。小銭しかないことを忘れて進路変更しました。

車に載せていたMDはglobeのリミックス版1枚だけ。ノリが良い「FACES PLACES」をひたすらリピートさせました。立ち寄ったコンビニでは、おでんの大根を一つだけ買って3人で分け、どうにか明け方に到着。ワンカップの日本酒を神社に供え、再び「FACES PLACES」をヘビーローテーションさせながら下道で福岡へ帰りました。

無謀な行軍がたたって体調を崩し、週末の試合は2回戦負け。散々な必勝祈願ツアーでしたが、今となっては良い思い出です。

(思斉館小PTA 山田宏一郎)

いいね! 単位PTA通信

神埼市立脊振小学校・中学校は全校児童・生徒合わせて50人ほどの小さな学校です。脊振山地の中腹にあり、自然環境に恵まれた学校で子供たちは元気いっぱい勉強に遊びにスポーツに頑張っています。

そこで行われる運動会が「脊振まるごと大運動会」です。言葉の通り、脊振町の子供から大人、地域各団体まで参加する脊振町を挙げての大運動会です。子供たちの踊りや競技のほか、脊振山の航空自衛隊も参加する綱引きも大変盛り上がりがあります。

このようなすばらしい運動会ですが、開催にあたり実は大変な問題があります。それはグラウンド整備です。脊振小中学校グラウンドは春先から夏に向けて草原化(?)していきます。この整備を行うことが毎年の課題です。子供たち、先生方、地域の方々としっかりコミュニケーションを計り、整備に取り組んでいます。6月には先生と、7月には地域の方々と、そして8月には子供たちも一緒に整備しています。

今年もみんなで協力して、しっかり取組んでいきます。すばらしい脊振まるごと大運動会が9月に予定通り開催できますように草刈り頑張ります!

運動会前、みんなで草刈り

脊振育友会会長 廣瀧 直義



小・中学生総合保障制度ご案内 [こども総合保険]

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします

- 賠償補償**
お友達にケガをさせる
自転車事故
- 身体補償**
通学中のケガ
日常生活のケガ
- 育英費用補償**
扶養者が事故で重度の後遺障害

補償内容について3分間の動画にまとめました



どのような補償があるか、ご確認ください

スマホで簡単手続き! お申込みはコチラ



■制度に関するお問合せ先(取扱代理店)
株式会社コーリン(佐賀県PTA連合会 保障制度事務局) 0120-228-553 受付時間/平日 午前9:00~午後5:00
〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F <https://www.pta-corin.com/>

■引受保険会社(幹事会社)AIG損保(非幹事会社)東京海上日動、損保ジャパン、CHUBB
○この広告は「小中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。 90-0014 (2026-04)